

PGA-4

法定研修のつながりと現任者に求めるスキル

社会福祉法人 名古屋市総合リハビリテーション事業団
相談支援部長・なごや高次脳機能障害支援センター参事
小島 一郎

本コースの対象

「ミクロレベルのケアマネジメント(いわゆる個別支援)とその研修における取り扱いについて」【主に初任者研修・現任研修】

- 初任者研修: 相談支援の業務(価値・知識・技術)を一通り学ぶ
モデル(となる教材)が必要
研修に携わる人たちの間での共通理解と協働が必要
- 現任研修 : 相談支援専門員としての業務を振り返り、
今後のスキルアップにつなげる
振り返りを促す仕掛け(ツールや手法)が必要
演習の中でミクロ→メゾと視点を移していく仕掛けが必要

今日

現任者に求めるスキル(研修の獲得目標)

①相談支援の基本的業務を確実に実施できる。

→特に「**意思決定支援**」の実践

②チームアプローチ(多職種連携)の理論と方法を学び、実践においてチームアプローチが展開できる。

→個別相談支援における多職種連携のあり方→地域づくりへ

③コミュニティワーク(地域とのつながりやインフォーマルサービスの活用、社会資源の開発等)の理論と方法を理解し、実践できる。

④グループスーパービジョンの理論と方法を学び、実践事例を用いてグループスーパービジョンを体験することで、自らの支援について助言・指導を受けることの重要性を理解する

→現任研修のグループワーク基盤となる

法定研修のつながり

相談支援体制の構築
(実習受入体制)

初任者研修

個別相談支援(ケアマネプロセス)

協議会理解

専門コース別研修

現任研修

個別相談支援
(意思決定支援)

多職種連携

地域援助技術

グループSV

主任研修

運営管理

人材育成
(体制・SV)

地域援助技術
(多職種連携・地
域課題の解決)

専門コース別研修

2日間のまとめ

本コースの対象

「ミクロレベルのケアマネジメント(いわゆる個別支援)とその研修における取り扱いについて」【主に初任者研修・現任研修】

- 初任者研修: 相談支援の業務(価値・知識・技術)を一通り学ぶ
モデル(となる教材)が必要
研修に携わる人たちの間での共通理解と協働が必要
- 現任研修 : 相談支援専門員としての業務を振り返り、
今後のスキルアップにつなげる
振り返りを促す仕掛け(ツールや手法)が必要
演習の中でミクロ→メゾと視点を移していく仕掛けが必要

法定研修のつながり

相談支援体制の構築
(実習受入体制)

初任者研修

個別相談支援(ケアマネプロセス)

協議会理解

専門コース別研修

現任研修

個別相談支援
(意思決定支援)

多職種連携

地域援助技術

グループSV

主任研修

運営管理

専門コース別研修

人材育成
(体制・SV)

地域援助技術
(多職種連携・地
域課題の解決)